

Remote Cable Tester

リモート対応ケーブルテスタ

LD-RCTEST2

本製品の主な特長	P2
本製品の仕様	P2
製品の保証とサービス	P2 ~3
各部の名称	P3
ケーブルテスタ 表示パネルの名称と機能	P4
お使いの前に	P5
テストする	P6 ~7
こんなときは	P7

User's Manual

本製品の主な特長

■テスト本体とリモートユニットが分離

本体とリモートユニットが分離できるため、すでに敷設しているケーブルでも簡単にテストできます。

■場合に応じた2つのテストモード

本製品のテストモードとデバッグモードの2つモードを使い分けることで、効果的にケーブルをチェックすることができます。

■RJ-45 に対応

Ethernet 100BASE-TX などに使用されている RJ-45 に対応しています。

■携帯に便利なケース付き

テスト本体とリモートユニットを同時に持ち運べるケースが付属しています。また、ケースに入れたままでもテストできるようになっています。

本製品の仕様

測定範囲	ケーブル全長 0.5 ～ 100m まで
電源	9V 電池 1 個
外形寸法 (mm)	(W)120 × (D)54 × (H)25 (リモートユニットを除く)
重量	90g (リモートユニットを含む、電池を除く)

製品の保証とサービス

■保証期間

本製品には保証書が付属しています。保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有償となります。詳細については保証書をご覧ください。

■ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンライン登録してください。次の URL アドレスにアクセスし、必要事項を入力して登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

エレコム ホームページアドレス <http://www.elecom.co.jp/>

■ Laneed サポートセンター

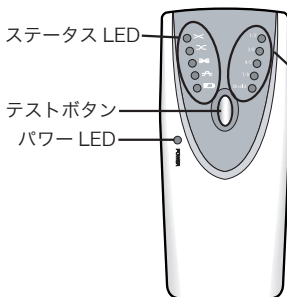
本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、Laneed サポートセンターにご連絡ください。

・ 電話番号 03-3444-5571

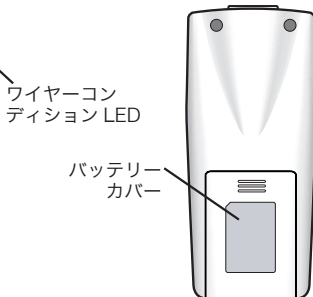
・ 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

各部の名称

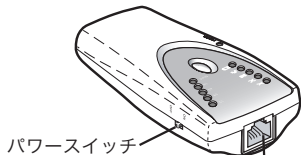
・ 本体正面



・ 本体背面



・ 本体前面



・ リモートユニット



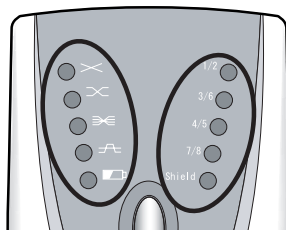
パワースイッチ

RJ-45 コネクタ

RJ-45 コネクタ

ケーブルテスタ 表示パネルの名称と機能

ステータス LED



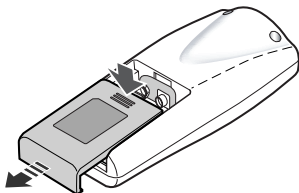
ワイヤーコンディション LED

ワイヤーコンディション LED	1/2 3/6 4/5 7/8	テストモードのケーブルテスト中は、ケーブルが正しく結線されていると緑色に点灯します。デバッグモードのケーブルテスト中は 1/2 のペアから順番にテストします。テスト中のペアのケーブルが緑色に点灯します。 (ファールが発生したときには、順番どおりに表示されません)
	Shield	シールドされている場合は、緑色に点灯します。
ステータス LED	ショート	テストしたケーブルがショートしている場合に赤色に点灯します。
	リバース	テストしたケーブルがリバースしているときに赤色に点灯します。 (ペアケーブルが逆に配線されている場合)
	クロス	テストしたケーブルを含む 2 つのペアのケーブルがクロス配線しているときに赤色に点灯します。
	スプリット	テストしたケーブルが分離してしまっているときに赤色に点灯します。
	バッテリー	電池容量が少ないときに赤色に点灯します。

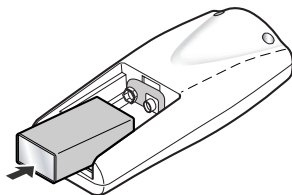
お使いの前に

本製品を使用する前に、付属の 9V 型乾電池を接続して本製品を使用できる状態にします。

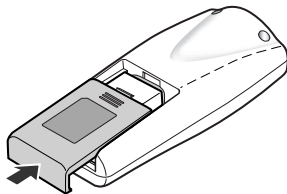
- 1** 本製品背面のバッテリーカバーをスライドしてカバーを外します。



- 2** 接続端子に乾電池を接続します。
プラス端子とマイナス端子を正しく接続してください。
電池は溝に正確はめ込んでください。



- 3** カバーを取り付けます。



テストする

本製品のテストモードとデバッグモードの2つモードを使い分けることで、効果的にケーブルをチェックすることができます。

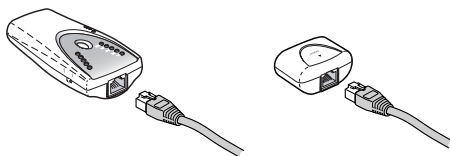
テストモード：一般的なケーブルテストモードです。ケーブル全体をチェックした結果を表示します。

デバッグモード：ペアごとにチェックします。1/2、3/6、4/5、7/8のペアごとにチェックするため、テストモードに比べ詳細なテスト結果が得られます。

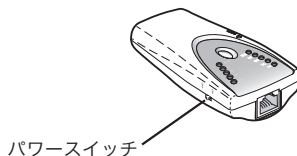


ケーブルを片端しか接続していない状態でテストを実行しないでください。本製品の故障の原因となります。

1 測定するケーブル両端のコネクタを本製品のポートに接続します。



2 パワースイッチを ON にします。
本製品の電源が ON になり、パワー LED が点灯します。



3 テストボタンを押します。
テストモードでテストの場合は1～3秒以内にテストボタンから指を離してください。3秒以上テストボタンを押し続けると、デバッグモードになります。

テスト結果がステータス LED に表示されます。

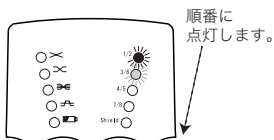
ステータス LED が点灯しているときは、ワイヤーコンディション LED の薄く点灯している部分をご確認ください。(その箇所がファールの該当部分です。)



デバッグモードでテストした場合、ペアごとの結果を順番に表示します。

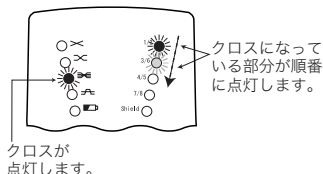
〈ストレートケーブルの場合〉

右側のワイヤーコンディション LED のみ、順番に点灯します。



〈クロスケーブルの場合〉

ステータス LED のクロス (X) が点灯し、クロス配線しているケーブル (1/2、3/6) が順番に点灯します。



- 4** テストを終了する場合は、パワースイッチを OFF にします。
本製品の電源が OFF になります。

こんなときは

バッテリーステータス LED が薄く点灯した

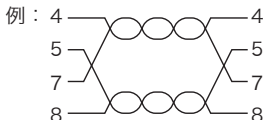
乾電池が消耗しています。9V 型乾電池に交換してください。

テスト時にスプリット (≡) が表示された

各組の配線が正しく規格どおりに配線されていない場合 (スプリット) に表示されます。

〈スプリットとは...〉

TIA568A、TIA568B では 1/2・3/6・4/5・7/8 の各組を同じツイストペアで配線するように定めています。スプリットはこの各組が同じツイストペアで配線されていない場合に発生します。





リモート対応ケーブルテスト

LD-RCTEST2

User's Manual

発行 エレコム株式会社

2002 年 4 月 20 日 第 1 版

2002 年 10 月 10 日 第 2 版